

笠岡湾干拓地での飼料用トウモロコシ大規模栽培に
おける課題とその対策：岡山県備中県民局畜産第一班
福田新

笠岡湾干拓地では200ha以上の面積で（農）干拓コントラを中心に飼料用トウモロコシ二期作栽培を展開。しかしR5年度は例年に比して一期作、二期作ともに収量が大幅に低下したため、R6年度栽培へ向けて干拓酪農家7戸と勉強会を実施し、①干拓地における気象条件（春播き時の多雨、夏播き時の干ばつ）対策、②イノシシ被害対策の取組が必要と整理。①の有効な対策として心土破碎と併せて部分深耕が可能なプラソイラの導入を検討。デモ機の試験利用で効果が期待されたことから、2台を導入し運用を開始。②については専門家を交えながら農家と対策を協議し、イノシシ出没状況調査を委託実施。行動データを基に囲い罠1基を干拓地内に設置して運用を開始するとともに、笠岡市の補助を利用して前年の被害が大きかった3ほ場へ電気柵を設置。R6年度については一期作、二期作とも一定量の収穫を確保できたが、引き続き対策の普及、改善が必要。